

NEWS RELEASE

平成28年 12月 14日

お客様へ

株式会社 栃木銀行
取締役頭取 黒本 淳之介

「とちぎ地域活性化ファンド」による出資について —『人気料理店』と『こだわり野菜生産農家』とのコラボレーションで地域に活力を—

株式会社栃木銀行（取締役頭取 黒本淳之介）と株式会社とちぎんキャピタル（代表取締役 齋藤隆）が平成27年2月に設立した「とちぎ地域活性化ファンド（運営会社：株式会社とちぎんキャピタル）」（以下、本ファンドとする。）は、株式会社ののじ（代表取締役 高田 昇）（以下、同社とする。）に対する出資を決定しましたので、お知らせします。

同社は、野菜生産ネットワーク 農人たち（代表 宮本 暢常）と共同で、平成27年11月に「食卓に感動を」をテーマに惣菜ブランド『ののじん』を立ち上げました。女性の社会進出や単身・2人世帯の増加、高齢者人口の増加を背景に、自宅で手軽に食べられる安心・安全な惣菜のニーズが高まっています。

宇都宮で人気の寿司店を展開する同社と、複数の農家が連携して少量・多品種の農薬不使用野菜を栽培する農人たちが、互いの経営資源を持ち寄り連携を図ることによって、安心・安全でおいしい惣菜を提供し、顧客のニーズに応えていきます。

この連携により、農家の継続的な経営に寄与するとともに、食材の安心・安全をアピールすることで、他社との差別化を図っています。将来的には、仕出し事業を拡大し、買い物困窮者への宅食等、高い地域貢献を目指します。当行ととちぎんキャピタルは、同社の事業が地域活性化を支援する本ファンドの運用趣旨と合致することから、今回出資を行い支援するものです。

本ファンドは、「とちぎん地域産業創生プログラム」（注1）の一環として設立したものであり、創業・新事業または将来成長が見込まれる地域企業に対し、「株式による出資」と併せ、栃木銀行グループの多様なネットワークを活用して企業の経営を全面的に支援する等、事業の持続的な成長発展・雇用の創出を目的としております。

（注1）平成27年2月に国の「まち・ひと・しごと創生法」にもとづく、地方創生、地域活性化の役割を担うため、地域産業の育成を目的に策定した当行独自のプログラムです。

NEWS RELEASE

【出資先概要】

| | |
|-------|------------------|
| 出資先 | 株式会社 ののじ |
| 代表者 | 代表取締役 高田 昇 |
| 本社所在地 | 栃木県宇都宮市戸祭町2774-8 |
| 設立 | 平成22年10月 |
| 事業内容 | 寿司店の経営、惣菜の製造・販売 |
| 出資日 | 平成28年12月14日 |

【ファンド概要】

| | |
|--------|--|
| 名称 | とちぎ地域活性化投資事業有限責任組合 (通称：とちぎ地域活性化ファンド) |
| ファンド総額 | 10億円 |
| 出資者 | 株式会社 栃木銀行 株式会社 とちぎんキャピタル |
| 投資形態 | 株式による出資（普通株・種類株等） |
| 投資対象 | 栃木銀行営業区域内で事業を営む未上場企業のうち、創業・新事業 または将来成長が見込まれる企業等 |
| 運営会社 | 株式会社 とちぎんキャピタル |

【ファンドスキーム図】

